

## 平成28年度県立学校生徒対象のセクシュアル・ハラスメントに係るアンケート調査結果について

県教育委員会では、県立高等学校生徒、県立中等教育学校後期課程生徒及び県立特別支援学校高等部生徒を対象として、セクシュアル・ハラスメント（以下「セクハラ」という。）に関する平成28年度アンケート調査を実施した。

### 1 調査の概要

#### (1) 調査目的

県立学校生徒のセクハラに対する理解を深めるとともに、県立学校におけるセクハラの実態を把握し、被害に対応する。また、教職員及び生徒の注意を喚起し、学校におけるセクハラ行為の防止を図る。

#### (2) 調査対象期間

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

#### (3) 調査方法

- ・ 県立高等学校全課程（142校約128,900人）、県立中等教育学校後期課程（2校約900人）及び県立特別支援学校高等部（28校約3,500人）の全生徒（計約133,300人）に、学校を通じて啓発資料とともに、アンケート用紙及び回答用紙を配付。
- ・ 調査対象期間における学校生活の中で、自分自身がセクハラ被害を受けたり、他の生徒が被害を受けたことを知っている場合に、答えられる範囲で任意に回答。回答は原則学校名と学年を記入するが、氏名については被害の実態を回答しやすいよう無記名でも可。
- ・ 生徒は自宅等で回答用紙に記入し、郵送受付期間〔平成29年1月27日（金）～3月31日（金）〕に県教育委員会へ直接郵送。

#### (4) 回答状況

被害を受けたという回答数 50通（内訳：男子12通 女子25通 不明13通）

### 2 調査の結果

#### (1) 被害状況（複数回答）

被害を受けたと回答した50人のうち、「自分自身が被害を受けた」と回答したのは35人、「他の生徒が被害を受けた」と回答したのは30人であった。

回答内容（複数回答）	回答人数
自分自身が被害を受けたという回答	35人
他の生徒が被害を受けたという回答	30人

\*上記のうち両方に回答したのは15人であった。

(2) 自分自身が被害を受けたという回答のセクハラの実行者（複数回答）

被害におけるセクハラの実行者（複数回答）	件数
生徒	15件
先生	13件
部活動の指導者（顧問の先生以外）	5件
その他	8件
計	延べ41件

(3) 自分自身が被害を受けたという回答の被害内容（複数回答）

被害の内容（複数回答）	件数
性的なからかいや冗談などを言われた	13件
必要もないのに体に触られた	13件
性的な関係を求められた	10件
「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた	4件
携帯電話などで性的な電子メールや画像を送られた	4件
その他	13件
計	延べ57件

(4) 学校が特定される回答

被害を受けたという回答50通のうち、学校名が特定された48通については、当該校にアンケートの回答内容について県教育委員会から連絡した。事実確認が必要な回答については、学校長が調査をし、校内の実行者が判明した場合は指導し、判明しなかった場合でも教職員や生徒に対する注意喚起等の措置が講じられた。

### 3 結果の総括と今後の対応

(1) 結果の総括

- 被害を受けたという回答は昨年度の52通に対し、50通とほぼ同数であった。教職員から被害を受けたとする回答の内容は、過去3年間と同様「性的なからかいや冗談などを言われた」などが多かった。例年の傾向ではあるが、教職員にセクハラの実行者はなくても、生徒がセクハラと受けとめる場合があると考えられることから、今後もアンケート調査の結果を踏まえて、生徒がどのような言動をセクハラととらえているのかを示し注意を促す必要がある。
- 被害を受けた生徒の対応については、「友だち、家族など身近な人に相談した」が最も多く、「学校の先生や相談窓口などに相談した」と合わせると

22件あった。昨年度と比較して「何もしなかった」という回答は減少しているものの、引き続き問題解決に向けて、生徒が行動を起こすことができるよう相談しやすい環境づくりを進めていく必要がある。

(2) 平成29年度の対応

① 生徒向け…セクハラ防止啓発への取組と校内人権相談窓口等の周知

- ・ 4月に啓発資料を全県立学校生徒に配付し、啓発を図った。
- ・ 6月にセクハラ相談窓口を含む相談窓口一覧ポスターを各校に配付して、相談窓口の周知をする。
- ・ 9月にセクハラ防止啓発ポスターを各校に配付して、啓発活動を推進する。
- ・ 各学校において生徒に校内人権相談窓口等についての周知を図るなど、生徒が相談しやすい環境づくりを進める。

② 教職員向け…啓発資料の作成と研修での活用

- ・ 今回のアンケート結果を掲載した教職員向け啓発資料を作成し、各県立学校の研修会等で活用する。

※ 調査結果全体は別紙のとおり。

## 平成28年度県立学校生徒対象のセクシュアル・ハラスメント に係るアンケート調査結果について（全体）

### 1 調査目的

- (1) 県立学校生徒のセクシュアル・ハラスメント（以下「セクハラ」という）に対する理解を深めるとともに、県立学校におけるセクハラの実態を把握する。
- (2) 県立学校生徒におけるセクハラの実態に対応する。
- (3) アンケート調査の実施により教職員及び生徒の注意を喚起し、セクハラ行為の防止を図る。

#### 【セクシュアル・ハラスメントとは】

相手が望まない性的な言動により相手方の生活環境を害すること又は性的な言動に対する相手方の対応によりその者に不利益を与えることをいう。

（神奈川県男女共同参画推進条例第2条）

### 2 対象

県立高等学校全課程(142校約128,900人)、県立中等教育学校後期課程（2校約900人）及び県立特別支援学校高等部（28校約3,500人）全生徒

約133,300人

### 3 調査対象期間

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

### 4 調査方法

学校を通じて全生徒にアンケート用紙及び回答用紙を啓発資料とともに配付し、調査対象期間における学校生活の中で、自分自身がセクハラの実態を受けたり、他の生徒が被害を受けたことを知っている場合に、答えられる範囲で任意に回答する。

回答する生徒は、自宅等で記入の後、郵送受付期間〔平成29年1月27日（金）～3月31日（金）〕に県教育委員会へ回答用紙を直接郵送する。

なお、回答は原則学校名と学年を記入するが、氏名については被害の実態を回答しやすいよう無記名でも可とした。

### 5 回答状況

被害を受けたという回答数 50通

（内訳：男子12通 女子25通 不明13通）

## 6 調査結果

### 【質問1】 セクハラ被害を受けたことがあるか（複数回答）

#### 【質問1】

学校生活でのセクハラについて、次の中からあてはまるものを選んでください（ア、イの複数回答ができます）。

校 種	ア、イのどちらか又は両方に○をした回答数	ア	イ
		自分自身が被害を受けた	他の生徒が被害を受けた
高等学校	43	29	28
中等教育学校			
特別支援学校	5	4	2
不明	2	2	0
合計	50	35	30

○ 35人から「自分自身が被害を受けた」ことがあるとの回答があった。

【質問2】① (自分自身が) 誰から被害を受けたか

【質問2】①

あなたは誰からセクハラを受けましたか。次の中からあてはまるものを選んでください。

回答項目	件数
ア：先生	13
イ：生徒	15
ウ：部活動の指導者（顧問の先生以外）	5
エ：その他	8
計	41

- 「生徒から」が15件と最も多く、次に「先生」が13件、「部活動の指導者」は5件あった。

【質問2】② (自分自身が) どのような被害を受けたか (複数回答)

【質問2】②

どのような被害を受けましたか。次の中からあてはまるものを選んでください。  
(複数回答ができます。)

回 答 項 目	件数
ア：携帯電話などで性的な電子メールや画像を送られた	4
イ：性的なからかいや冗談などを言われた	13
ウ：必要もないのに体に触られた	13
エ：性的な関係を求められた	10
オ：「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた	4
カ：その他	13
計	57

- 被害の内容としては、「性的なからかいや冗談などを言われた」「必要もないのに体に触られた」が13件と最も多かった。

【質問2】③ (自分自身が) いつ被害を受けたか (複数回答)

【質問2】③

いつ被害を受けましたか。次の中からあてはまるものを選んでください。  
(複数回答ができます。)

回 答 項 目	件数
ア：授業中	13
イ：部活動中	5
ウ：その他	25
計	43

○ 「授業中」が最も多く、13件あった。「部活動中」は5件あった。



【質問2】①②③ セクハラ行為別の行為者、場面（複数回答）

【質問2】

- ①あなたは誰からセクハラを受けましたか。  
 ②どのような被害を受けましたか。  
 ③いつ被害をうけましたか。

回答項目	①				② 件数 (再掲)	③		
	ア..先生	イ..生徒	ウ..部活動の指導者	エ..その他		ア..授業中	イ..部活動中	ウ..その他
ア：携帯電話などで性的な電子メールや画像を送られた	2	1	0	1	4	1	0	3
イ：性的なからかいや冗談などを言われた	6	5	0	2 (2)	13	6	1	8
ウ：必要もないのに体に触られた	3	7	0	3	13	3	1	11
エ：性的な関係を求められた	2	5	1	2	10	2	1	11
オ：「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」などと性別により決めつけられた	2	1	0	1	4	3	1	1
カ：その他	6	5	0	2 (1)	13	4	1	13
計	21	24	1	11	57	19	5	47

- 「性的なからかいや冗談などを言われた」については、「先生」が6件、「生徒」が5件であり、「授業中」が6件で最も多かった。  
 ○ 「必要もないのに体に触られた」については、「生徒」が7件で最も多かった。

【質問2】④ (自分自身が)被害を受けてどうしたか(複数回答)

【質問2】④

被害を受けてどうしましたか。次の中からあてはまるものを選んでください  
(イ～オは複数回答ができます)。

回 答 項 目	件数
ア：何もしなかった	12
イ：態度や言葉などで不快と感じたことを相手に伝えた	10
ウ：友だち、家族など身近な人に相談した	13
エ：学校の先生や相談窓口などに相談した	9
オ：その他	9
計	53

- 「何もしなかった」が12件、「友だち、家族など身近な人に相談した」が13件、「学校の先生や相談窓口などに相談した」が9件あった。
- 「態度や言葉などで不快と感じたことを相手に伝えた」は10件であった。

【質問2】⑤ (自分自身が受けたセクハラは) 現在どうなっているか (複数回答)

【質問2】⑤

現在、そのセクハラはどうなっていますか。次の中からあてはまるものを選んでください。  
(複数回答ができます)

回 答 項 目	件数
ア：被害を受けなくなった	12
イ：被害を受け続けている	16
ウ：二次被害を受けた	7
エ：その他	3
計	38

- 「被害を受け続けている」が16件と最も多く、「被害を受けなくなった」が12件、「二次被害を受けた」が7件であった。

【質問3】 (他の生徒が) 誰からいつどのような行為を受けたか

(自由記述から読み取り・複数回答)

【質問3】

他の生徒が被害を受けたことを見たり聞いたりした場合は、「誰が、誰から、どのような被害を、いつ受けたか等」について、答えられる範囲で具体的に記入してください。

○「友達が」、「先生から」、「授業中」、「性的なからかいや冗談などを言われた」に該当する記述が最も多かった。

参考

県立学校生徒対象セクシュアル・ハラスメントに係るアンケート調査結果概要

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
対象生徒		約133,300人	約133,000人	約132,100人
① 自分自身が被害を受けた・他の生徒が被害を受けた生徒数	高等学校	43人	33人	45人
	特別支援学校	5人	15人	13人
	不明	2人	4人	3人
	計	50人	52人	61人
② ①のうち自分自身が被害を受けた生徒数	高等学校	29人	23人	37人
	特別支援学校	4人	14人	11人
	不明	2人	1人	2人
	計	35人	38人	50人
③ ②におけるセクハラ的行為者別行為件数 ※( )内は、事案数	先生	21件(13件)	23件	19件
	生徒	24件(15件)	35件	51件
	部活指導者	1件(5件)	1件	3件
	その他	11件(8件)	4件	20件
	総数	57件(41件)	63件	93件
④ ②の被害内容の上位2項目(複数回答)	先生からの被害	①性的なからかいや冗談などを言われた ②必要もないのに体に触られた	①性的なからかいや冗談などを言われた ①「女(男)にはまかせられない」「男(女)のくせにだらしがない」などと性別により決めつけられた	①性的なからかいや冗談などを言われた ①必要もないのに体に触られた
	生徒からの被害	①必要もないのに体に触られた ②性的なからかいや冗談などを言われた	①必要もないのに体に触られた ②性的なからかいや冗談などを言われた	①必要もないのに体に触られた ②性的なからかいや冗談などを言われた